

## <GAP Japan アワード 2023>

### 徳島県農林水産部畜産振興課が受賞!

#### 「JGAP 畜産」認証取得を必須要件とした地域ブランド牛の創設

#### ー 徳島県 とくしま三ツ星ビーフ ー

JGAP、ASIAGAP は、食品安全、環境保全、労働安全、人権の尊重、農場管理、畜産においては家畜衛生、アニマルウェルフェアの取り組みからなる農場の認証制度です。小売業界、清涼飲料業界などで支持が広がっており、大阪・関西万博での調達コードにも指定されました。このたび GAP の普及を一層推進し、優良な取り組み事例を共有するため、一般財団法人日本 GAP 協会では「GAP Japan アワード 2023」で優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

#### ■アワード受賞者：徳島県農林水産部畜産振興課

徳島県では、経済のグローバル化等を踏まえた安全安心な県産畜産物の活性化等を考慮し、海外輸出を積極的に進めるため、令和元年度に JGAP を必須要件とした「とくしま三ツ星ビーフ」を創設しました。JGAP 認証がブランドの高付加価値化に繋がるものと捉え、「とくしま三ツ星ビーフ」を国内外の大消費地での販路拡大活動や海外輸出等の認知度向上に取り組んでいます。

この取り組みは、他の多くが肉質や等級に偏ったブランド作りとなっていることに対し、その牛が育った環境や牧場の価値に着目している点が新しく、そこに JGAP 認証を活用している先進的な取り組みです。この取り組みは積極的な広報活動も相まって農産・畜産を通じての JGAP の新たな活用法を切り拓いており、このことが GAP Japan アワードに相応しいと高く評価されました。

#### 【ポイント】

- ・ 令和元年に JGAP を必須要件とした地域ブランド「とくしま三ツ星ビーフ」を創設
- ・ 令和 3 年に、とくしま三ツ星ビーフブランド確立対策協議会を創設し、県内外の外食産業等と連携した知名度向上、販路拡大及び海外展開を図るとともに、「JGAP 畜産」を推進
- ・ 認知度向上活動をする中で、有名ホテルのシェフや高級レストランのトップシェフをメインターゲットとし、説明会・試食会、JGAP 牧場の視察会等の取り組みを推進
- ・ 県産牛肉を海外展開する中で、「とくしま三ツ星ビーフ」の必須要件である JGAP の取り組みを積極的にバイヤー等に PR し、特に「アニマルウェルフェア」の取り組みは欧米で高く評価され、継続的な輸出を実現

GAP Japan アワードは、一般財団法人日本 GAP 協会が主催する、最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。選考委員は次の通りです(五十音順、敬称略)。

門田 隆司(不二製油グループ本社 取締役 兼 上席執行役員 最高技術責任者/大阪・関西万博 持続可能な調達ワーキンググループ委員)

田口 光弘(農研機構 みどり戦略・スマート農業推進室 兼 農業経営戦略部営農支援ユニット 上級研究員)

針原 寿朗(住友商事(株) 顧問/元農林水産省 農林水産審議官)

同時に「コストコホールセールジャパン株式会社」も GAP Japan アワードを受賞しました。2 受賞事例について、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場下さい。

#### ■シンポジウム「GAP Japan 2023」

開催日:2023 年 11 月 10 日(金) 13:00~ ※終了後に同会場(階下)で懇親会を開催

場 所:有明セントラルタワーA(東京都江東区有明 3-7-18)および Zoom ウェビナー

<https://jgap.jp/gapjapan2023/index.html> ※報道関係者は無料ご招待(添付参照)

問合せ先:荻野(おぎの)TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 Email [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp)